後期高齡者医療 特別会計

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	庶務経費	庶務経費 事業類型 内部事務											
担当部課	医療保険部	医療保険部保険年金課											
基本計画	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用						と・しごと 8合戦略	-	-				
予算科目	会計後期高齢者	医療特別会計	款	01	総務費	項	01	総務管理費	目 01 一般管理費				
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律施行令第2条												
事業目的 (最終的に目指す状態)	被保険者証	の発送	業務	、後	期高齢者医療シス	くテム	.(広 [‡]	或連合)の借り上げ等を行う	ò.				

行政コスト計算書

(単位 円)

<u> 11E</u>	<u>X – Z</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
		勘定	:科目	28年度		勘定科目	28年度
			職員給与費	2,930,696		市税	0
		人	賞与等引当金繰入額	502,841		保険料	0
		件	退職手当引当金繰入額	0		国庫支出金	0
		費	その他	11,171,963	経常収	都支出金	0
		小計		14,605,500	吊	分担金及び負担金	0
			物件費	45,511,833	λ	使用料及び手数料	0
	業 務 件	物	維持補修費	0		繰入金	65,787,342
経	務 費	件	減価償却費	0		その他	7,095,220
経常費用	用	費等	その他	0		小計	72,882,562
用			小計	45,511,833	経常収支差額(A)		12,765,229
		そ の	支払利息	0	特別費用		0
		他 の	徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		業 務	その他	0		特別収支差額(B)	0
		費 小計		0	本年	度収支差額(A)+(B)=(C)	12,765,229
	小計		小計	60,117,333		一般財源調整額(D)	0
	移転費用		多転費用	0	一般財源充当額(E)		0
	小計		小計	60,117,333	Ē	再計(C)+(D)+(E)	12,765,229

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.90人	0.90人	0.40人	0.50人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.90人	0.90人	0.40人	0.50人

指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



28年度 目標	特になし	27年度末時点の課題と対応	特になし 解決		
主な 活動実績	75歳年齢到達者に被保険者証を発送した。		NT // C		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持		
改善·改革 <i>0</i>	D取組				
内容					
今後の取組					
29年度 目標	被保険者証の年齢到達分等を計画通り発送する。	28年度末 時点の課題	特になし		
29年度の 取組	特になし		2年に一度の被保険者証の一斉更新のため計画 通り発送する。		

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	電算シ	電算システムの改修 事業類型 内部事務												
担当部課	医療保険	医療保険部保険年金課												
基本計画	編 2 章	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用					の適正な運用			ひと・しごと 総合戦略	-	-		
予算科目	会計 後期7	会計 像期高齢者医療特別会計 款 01 総務費 項 01 総務管理費				総務管理費	目	01	一般管	管理費				
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律・地方税法													
事業目的 (最終的に目指す状態)	地方税法	ţのi	改正に	伴う	後期	高齢者医療制度シ	ノステ	_ _	改修を速やかに行う					

行政コスト計算書

(単位 円)

<u> 1 J IE</u>	<u>X – /</u>	<u> </u>	<u> 异音 </u>				
		勘定	科目	28年度		勘定科目	28年度
			職員給与費	732,676		市税	0
		人	賞与等引当金繰入額	125,710		保険料	0
		件	退職手当引当金繰入額	109,760		国庫支出金	0
		費	その他	0	経	都支出金	0
			小計	968,146	経常収	分担金及び負担金	0
			物件費	0	入	使用料及び手数料	0
	業 務	物	維持補修費	0		繰入金	952,640
経	務 費	件 費	減価償却費	7,478,071		その他	0
経常費用	用	等	その他	0		小計	952,640
用用			小計	7,478,071	経常収支差額(A)		7,493,577
		そ の	支払利息	0	特別費用		0
		他 の	徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		業務その他		0		特別収支差額(B)	0
	か計 用 小計		小計	0	本年	度収支差額(A)+(B)=(C)	7,493,577
			小計	8,446,217	一般財源調整額(D)		0
	移転費用		多転費用	0	一般財源充当額(E)		0
	小計		小計	8,446,217	Ē	再計(C)+(D)+(E)	7,493,577

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.51人	1.51人	0.10人	1.41人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.51人	1.51人	0.10人	1.41人

指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



事業実績 特になし 28年度 27年度末時点 必要な改修を速やかに行う。 目標 の課題と対応 解決 主な 遅滞なく改修を行った。また、パッケージ内の改修に収めることができ、改修費の支出はなかった。 活動実績 達成 現状維持 28年度評価 次年度の展開 改善・改革の取組 内容

今後	今後の取組									
	年度 目標	必要な改修を速やかに行う。	28年度末 時点の課題	特になし						
	手度の 双組	特になし	30年度の 計画	必要な改修を速やかに行う。						

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	徴収経費	數収経費						事業類型 内部事務				
担当部課	医療保険部位	医療保険部保険年金課										
基本計画	編 2 章 1	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用 まち・ひと・しごと 創生総合戦略 -						-				
予算科目	会計 後期高齢者医	療特別会計	款 01	総務費	項	02	徴収費	目	01	徴り	又費	
根拠法令等	高齢者の医療	寮の確*	保に関す	る法律第48条・同	施行	令第	2条					
事業目的 (最終的に目指す状態)	後期高齢者	高齢者の医療の確保に関する法律第48条・同施行令第2条 										

行政コスト計算書

(単位 円)

			· 注科目	28年度		勘定科目	28年度
			職員給与費	17,217,837		市税	0
		人	賞与等引当金繰入額	2,954,190		保険料	0
		件	退職手当引当金繰入額	7,084,930		国庫支出金	0
		費	その他	0	経常	都支出金 分担金及び負担金	0
			小計	27,256,957	吊収		0
			物件費	19,241,134	入	使用料及び手数料	9,600
	業 務	物	維持補修費	0		繰入金	40,958,622
経営	務	件 費	減価償却費	0		その他	0
経常費用	用	等	その他	0		小計	40,968,222
用			小計	19,241,134	経常収支差額(A)		5,529,869
		その	支払利息	0		特別費用	0
		他 の	徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		業 務	その他	0		特別収支差額(B)	0
		費用 小計 0 2		本年	度収支差額(A)+(B)=(C)	5,529,869	
	小計		小計	46,498,091	一般財源調整額(D)		0
	移転費用		多転費用	0	一般財源充当額(E)		0
	小計		小計	46,498,091	Ē	再計(C)+(D)+(E)	5,529,869

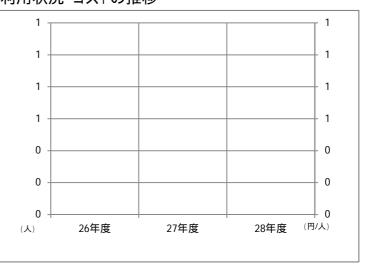
	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	2.15人	2.05人	2.35人	0.30人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	2.15人	2.05人	2.35人	0.30人

指標と単位当たりコスト

	<u> </u>			
指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



28年度 目標	特になし	27年度末時点 の課題と対応	特になし 解決		
主な活動実績	後期高齢者医療保険料賦課決定通知書の作成委	託・発送を行った			
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持		
	D取組				
内容					
今後の取組					
29年度 目標	特になし	28年度末 時点の課題	特になし		
29年度の 取組	後期高齢者医療保険料賦課決定通知書の作成 委託・発送を行う。	30年度の 計画	特になし		

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	葬祭	萨祭費						事業類型窓口サービス						
担当部課	医療係	医療保険部保険年金課												
基本計画	編 2	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用					の適正な運用			ひと・しごと E総合戦略	-	-		
予算科目	会計	後期高齢	者医療特別会計	款	01	総務費	項	03	葬祭費	目	01	葬夠	兴費	
根拠法令等	高齢者	高齢者の医療の確保に関する法律第86条・東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例第1条の2												
事業目的 (最終的に目指す状態)	後期高	後期高齢者の死亡に際し、葬祭を行った葬祭執行者に5万円を支給するもの。												

行政コスト計算書

(単位 円)

			异 科目	28年度		勘定科目	28年度
			職員給与費	6,594,065		市税	0
		人	賞与等引当金繰入額	1,131,392		保険料	0
		件	退職手当引当金繰入額	11,951,367		国庫支出金	0
		費	その他	0	経常	都支出金	0
			小計	19,676,824	吊収	分担金及び負担金	0
			物件費	0	入	使用料及び手数料	0
	業 務	物	維持補修費	0		繰入金	6,968,003
経営	费	件 減価償却費 0			その他	175,050,000	
経常費用	用	等	その他	0		小計	182,018,003
用			小計	0	経常収支差額(A)		9,858,821
		その	支払利息	0	特別費用		0
		他 の	徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		業務	その他	0		特別収支差額(B)	0
		費用 小計 0		本年	雙収支差額(A)+(B)=(C)	9,858,821	
	小計		小計	19,676,824		一般財源調整額(D)	0
	移転費用		多転費用	172,200,000	一般財源充当額(E)		0
			小計	191,876,824	Ē	再計(C)+(D)+(E)	9,858,821

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.50人	0.15人	0.90人	0.75人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.50人	0.15人	0.90人	0.75人

指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



3 7177 707					
28年度 目標	後期高齢者の死亡に際し、葬祭を行った葬祭執 行者に5万円を支給する。	27年度末時点 の課題と対応	特になし 解決		
	後期高齢者の死亡に際し、葬祭を行った葬祭執行 実績 3,444件 172,200,000円	者に5万円を支約			
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持		
改善·改革0	D取組				
内容					
今後の取組					
29年度 目標	後期高齢者の死亡に際し、葬祭を行った葬祭執 行者に5万円を支給する。	28年度末 時点の課題	特になし		
	後期高齢者の死亡に際し、葬祭を行った葬祭執 行者に5万円を支給する。		後期高齢者の死亡に際し、葬祭を行った葬祭執行者に5万円を支給する。		

事務事業評価シート(平成28年度事業)

				_		(
事務事業名	広域連合分類	広域連合分賦金 事業類型 補助·負担·支援									
担当部課	医療保険部保険年	医療保険部保険年金課									
基本計画	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		-			
予算科目	会計後期高齢者医療特別会計	款 02	広域連合納付金	項	01	広域連合納付金	目	01	広域連領	合分賦金	金
根拠法令等	地方自治法291条の	地方自治法291条の9第2項 高齢者の医療の確保に関する法律第98条第105条 東京都後期高齢者医療広域連合規約第18条									
事業目的 (最終的に目指す状態)	東京都後期高齢者	東京都後期高齢者医療広域連合へ負担金として支払う。									

行政コスト計算書

(単位 円)

			异 科	28年度		勘定科目	28年度
			職員給与費	3,297,034		市税	0
		人	賞与等引当金繰入額	565,695		保険料	5,786,365,900
		件	退職手当引当金繰入額	6,501,333		国庫支出金	0
		費	その他	0	経常	都支出金 分担金及び負担金	0
			小計	10,364,062	吊収		0
			物件費	0	入	使用料及び手数料	0
	務件	物	維持補修費	0		繰入金	5,348,538,936
経		費	減価償却費	0		その他	92,300
経常費用	用	等	その他	0		小計	11,134,997,136
用用			小計	0	経常収支差額(A)		2,456,650
		その	支払利息	0		特別費用	482,400
		他 の	徴収不能引当金繰入額	8,331,807		特別収入	0
		業務	その他	0		特別収支差額(B)	482,400
		費用 小計 8,331,807		本年	度収支差額(A)+(B)=(C)	1,974,250	
	小計		小計	18,695,869		一般財源調整額(D)	0
	移転費用		8転費用	11,113,844,617	一般財源充当額(E)		0
			小計	11,132,540,486	Ē	再計(C)+(D)+(E)	1,974,250

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.05人	0.05人	0.45人	0.40人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.05人	0.05人	0.45人	0.40人

指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



5 7177 7177					
	東京都後期高齢者医療広域連合へ負担金として 支払う。	27年度末時点 の課題と対応	特になし 解決		
	東京都後期高齢者医療広域連合へ負担金として予 実績額 11,113,844,617円	を払った。			
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持		
改善·改革(D取組				
内容					
今後の取組					
	東京都後期高齢者医療広域連合へ負担金として 支払う。	28年度末 時点の課題	特になし		
	東京都後期高齢者医療広域連合へ負担金として 支払う。	30年度の 計画	東京都後期高齢者医療広域連合へ負担金として 支払う。		

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	償還金及	賞還金及び還付金 事業類型 賦課徴収											
担当部課	医療保険部	医療保険部保険年金課											
基本計画	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用					まち・ひと・しごと 創生総合戦略 -		ı	-				
予算科目	会計後期高齢者	医療特別会計	款	04	諸支出金	項	01	償還金及び還付金	目	01	償還金及	び還付	金
根拠法令等	高齢者の医	療の確	保に	関す	る法律第48条・同	施行	令第	2条					
事業目的 (最終的に目指す状態)	後期高齢者	後期高齢者医療保険料の還付金返還											

行政コスト計算書

(単位 円)

<u>「「以」人「T計算者」 </u>						(単位 位				
		勘定	:科目	28年度		勘定科目	28年度			
			職員給与費	2,564,359		市税	0			
		人	賞与等引当金繰入額	439,986		保険料	0			
		件	退職手当引当金繰入額	0		国庫支出金	0			
		費	その他	0	経常収	都支出金	0			
			小計	3,004,345	吊	分担金及び負担金	0			
	-		物件費	0	λ	使用料及び手数料	0			
	│ 業 │ 物 経 │ 務 │ 件 党 │ 費 │ 費	物	維持補修費	0		繰入金	4,983,957			
経		件費等	減価償却費	0		その他	12,189,431			
経常費用	用		その他	0		小計	17,173,388			
用			小計	0		経常収支差額(A)	875,557			
	-	そ の	支払利息	0		特別費用	0			
		他 の	徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	1,643,600			
		業 務	その他	15,044,600		特別収支差額(B)	1,643,600			
	費 小計		小計	15,044,600	本年	度収支差額(A)+(B)=(C)	768,043			
			小計	18,048,945		一般財源調整額(D)	0			
			多転費用	0		一般財源充当額(E)	0			
	小計		小計	18,048,945	Ē	再計(C)+(D)+(E)	768,043			

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.05人	1.10人	0.35人	0.75人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.05人	1.10人	0.35人	0.75人

指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



5 7177 7077					
28年度 目標	後期高齢者医療保険料の還付金返還	27年度末時点 の課題と対応	特になし 解決		
	後期高齢者医療保険料の過年度還付金返還 実績 1,299,800円				
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持		
<u>改善·改革(</u>	D取組				
内容					
今後の取組					
29年度 目標	後期高齢者医療保険料の還付金返還	28年度末 時点の課題	特になし		
29年度の 取組	法令等に基づき、適正かつ確実に実施する。	30年度の 計画	法令等に基づき、適正かつ確実に実施する。		

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	一般会計繰出金						事業類型 内部事務			
担当部課	医療保険部保険年金課									
基本計画	編 2 章 1 施策番号 10 社会保障制度の適正な運用					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		-	-	
予算科目	会計 像期高齢者医療特別会計 款 04 諸支出金 項 02 繰出金					目	01	一般会詢	計繰出3	金
根拠法令等										
事業目的 (最終的に目指す状態)	後期高齢者医療特別会計から一般会計へ余剰金を繰戻すもの									

行政コスト計算書

(単位 円)

<u> 付以 J 人 ト計算書 </u>					(単位 円)				
		勘定	:科目	28年度		勘定科目	28年度		
		人	職員給与費	366,338		市税	0		
			賞与等引当金繰入額	62,855		保険料	0		
		件	退職手当引当金繰入額	655,621		国庫支出金	0		
		費	その他	0	経	都支出金	0		
			小計	1,084,814	経常収	分担金及び負担金	0		
		物件費等	物件費	0	入	使用料及び手数料	0		
	業 務		維持補修費	0		繰入金	388,335		
経	務 費 用		減価償却費	0		その他	10,234,600		
経常費用			その他	0		小計	10,622,935		
用用			小計	0		経常収支差額(A)	2,751,015		
	-		支払利息	0		特別費用	0		
		他 の	徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0		
		業 務	その他	0		特別収支差額(B)	0		
		費用	小計	0	本年	度収支差額(A)+(B)=(C)	2,751,015		
			小計	1,084,814	一般財源調整額(D)		0		
	移転費用		多転費用	12,289,136	一般財源充当額(E)		0		
	小計		小計	13,373,950	再計(C)+(D)+(E)		2,751,015		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.01人	0.01人	0.05人	0.04人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.01人	0.01人	0.05人	0.04人

指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b - a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				



事業実績			
28年度 目標	後期高齢者医療特別会計から一般会計へ余剰金を繰戻す。	27年度末時点 の課題と対応	特になし 解決
主な 活動実績	平成27年度後期高齢者医療広域連合分賦金等の 経費を補正し、余剰金を繰戻した。	確定により、一般	设会計繰入金の超過繰り入れ分を返還する
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持
<u>改善·改革(</u>	D取組		
内容	特になし		
今後の取組			
29年度 目標	後期高齢者医療特別会計から一般会計へ余剰金 を繰戻す。	28年度末 時点の課題	特になし
29年度の 取組	特になし	30年度の 計画	後期高齢者医療特別会計から一般会計へ余剰金 を繰戻す。
L			